

令和 4 年度 墨田区立隅田小学校 経営報告書

令和 5 年 3 月 1 0 日

学校目標	<p>人権尊重の精神を教育活動の基盤として、「学び合い、支え合い、共にかがやく隅田の子」を重点目標とし、児童に生きる力を育む。</p> <p>次の教育目標を掲げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎自分の思いや考えがもてる子ども ○思いやりの心がある子ども ○心と体をきたえる子ども
目指す学校像	<p>「明るく、楽しく、温かく、明日も行きたくなる学校」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが夢をもち、意欲的・主体的に学ぶ学校 ・互いに思いやりの気持ちをもち、集団のルールを守る規律ある学校 ・子どもの居場所を、学校・保護者・地域が協力・協働してつくる学校
目指す子供像	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら考え やり抜く子 ・互いに認め合い 高め合う子 ・健康で安全な生活を心がけ 進んで体をきたえる子
目指す教師像	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人のよさを伸ばし、分かる授業・楽しい授業を追求する教師 ・一人一人の思いを受け止め、教え導く教師 ・保護者、地域と連携し、よりよい学びの場を創造し、信頼される教師

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
各教科等指導	学校は、確かな学力を育てるための、分かりやすい授業を実施しているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の力を高めるため、音読、視写、川柳等に取り組み、言語能力の向上を目指す。 ・考えたことを表現する力の育成を目指して、校内授業研究を組織的に取り組む。 ・タブレット端末を効果的に活用し、視覚的效果により理解を高めたり、意見交流に活用したりして学力向上を目指す。 	A	A
	学校は、特別な支援を必要とする子供に対しての、組織的に適切な支援等を行っているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・連携型個別指導計画を基に学びの教室巡回指導教員との連携を密にして充実させる。 ・特別支援委員会を軸に組織的に取り組み、より効果的な支援が行えるようにする。 	A	A
	学校は、社会的自立に向けた進路指導・キャリア教育・相談活動等に取り組む。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保小中連携では、学習指導、生活指導面において連携を充実させ将来に向けた教育活動を行う。 ・キャリアパスポートを活用し、自身の振り返りと将来の見通しをもたせる。 	A	A
	学校は、教員の指導力・授業力の向上のための、組織的な取組等を行う。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・年 3 回の O J T による相互授業参観を通して指導力、授業力の向上を図る。 ・「自分の思いや考えを形成し、分かりやすく表現できる子」をテーマに過去 3 年間の国語科研究を土台に、他教科にも広げ校内研究に取り組む。 	A	A

様式 4

	学校関係者評価委員会の意見等	学力が向上していることがとても良いと思っている。校長先生をはじめ教員が努力をしていることが感じられ、子供たちを見ても、皆楽しそうで良い学校生活を送っていると感じる。
--	----------------	--

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
生活指導等	学校は、いじめ、不登校等の予防や解決に向けた組織的な取組等を行っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校対策委員会を中心に、不登校未然防止策に取り組み、児童の問題行動等についてよりスピーディに対応できるようにする。 ・スクールカウンセラー、児童相談所、子ども家庭支援センター、警察等関係諸機関と連携し児童の問題行動の解決に取り組む。 	A	A
	学校は、基本的な生活・社会習慣、人間関係づくりのための心の教育等に取り組んでいるか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・上手な挨拶ができる児童の育成を目指し、生活指導部を中心に組織的に取り組むとともに地域・保護者と連携し挨拶啓発に取り組む。 ・異学年活動を充実させ、人間関係づくりについて実践を通して学ばせる。 	A	A
	学校は、危機回避能力の育成や子供の安全を確保するための取組等を行う。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教室及び学級指導や地域と連携し、登下校における安全な歩行や自転車の安全な利用等の学習を行う。 ・学級指導や月1回の避難訓練を通して、災害安全に関する指導を行う。 ・校内SNSルールやSNS東京ノートを活用し SNS 等を安全に活用できるようにする。 	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等	挨拶は良くなってきている。暴言や人を傷つける言葉を容易に使ってしまわないように引き続き指導して欲しい。 コロナ対策を丁寧にやっている。子供たちの健康を大切にしてくれて有り難い。			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
学校の管理運営	学校は、経営方針に基づいた、組織的な教育活動・学校運営等を行っているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・主幹会議、運営委員会、職員会議を通して学校運営方針を理解させ組織的な教育活動を実施する。 ・年2回教員による自己評価を実施し、より良い学校運営を組織的に行う。 	A	A
	学校は、子供の実態に合わせた教育目標設定及び学校評価等を適切に行っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学力テスト、i-チェック、体力テストの結果から児童の実態を把握し、目標を設定する。 ・評価委員会を中心に評価方法を確認し適切な評価を行う。 	A	A
	学校には、適切な教育活動が行える環境・設備等が整えられているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・人権に配慮した掲示や教育環境の整備を行う。 ・学校施設の安全点検を徹底するとともに、区と連携してより良い環境づくりをおこなう。 ・よりよい環境作りのため、校内環境整備をこまめに行う。 	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等	きれいな学校、広い校庭で学習や活動を行えるのは、大変幸せである。校長先生、副校長先生を中心に組織だった運営がされていると思う。先生同士のまとまりを感じることができる。			

様式 4

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
家庭・地域連携	学校は、教育方針や日常の教育活動の様子などを工夫して分かりやすく伝える取組等を行っているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> 週に 1 回ホームページを更新し、日常の教育活動を伝える。 学校公開、保護者会、個人面談等を通して、児童の様子を地域・保護者に伝える機会を増やす。 毎月 25 日に学校だより、学年だよりをデジタルにより発行しいつでもどこでも閲覧できるようにする。 	A	A
	学校は、保護者や地域の理解や協力を得た教育活動を行っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 地域行事や P T A 行事には全教職員ができるだけ参加できるようにする。 P T A 役員との連携を深め協力して課題解決に当たる。 	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等	<p>コロナ禍より関わりをもつことに工夫が必要になった。特に授業以外は地域、家庭で協力すべき教育なので、学校が学力向上に重点を置くことができるように協力したい。コロナ禍により児童の活動を見ることが少なかったが、体育学習発表会では、子供たちが張り切って運動し輝いている姿を目にすることができた。</p>			

2 令和 4 年度学校評価のまとめ

- ・学校公開や体育学習発表会や展覧会などで子供たちの頑張っている姿や作品を保護者に見ていただくことができた。
- ・学力向上に力を入れ効果が上がってきている。知識、技能だけでなく、思考力、表現力などの向上にも力を入れ、引き続き努力していく。
- ・コロナ対応により限定的としていた、登校班活動や異学年交流を後期には開放した。人との関わりや地域との関わりについて回復に努めた。
- ・挨拶指導に繰り返し取り組み、校内での挨拶は活発になってきた。外部アンケートでは 7 割強の肯定的意見を得ることができた。来年度は校内だけでなく、地域の方々にも進んで挨拶ができるように指導していく。

以上の通り報告いたします。

墨田区立隅田小学校 校長 浮津 あゆみ 公印